

第1章 平成7年度山口大学構内遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市（吉田・白石構内）、宇部市（小串・常盤構内）、光市（光構内）の県内各市に分散している。各構内には、縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての複合集落遺跡として著名な吉田構内をはじめとして、旧石器時代の遺物が出土する小串構内など、周知の遺跡が埋存している。山口大学埋蔵文化財資料館は学内共同利用施設として、これら各構内において現状変更を伴う諸工事に対し、埋蔵文化財保護の立場から調査・研究を行っている。埋蔵文化財の調査を必要とする場合は、工事地域周辺での既往の調査結果や工事の内容、埋蔵文化財に対する影響の度合いなどを勘案し、埋蔵文化財資料館運営委員会の議を経て、事前・試掘・立会の三種の方法によって調査を実施している。

平成7年度は事前調査2件、試掘調査7件、立会調査9件の計18件の調査を実施した。平成6年度に引き続き通常年度を大きく上回る数の調査を行うこととなり、資料館では対応に苦慮した。発掘調査は平成7年度中に終了したが、平成6年度事業分の整理作業が遅滞したため、平成7年度事業分の整理作業にも通常を大幅に上回る期間を必要とせざるを得なかった。また、報告書の作成は平成7年度に在籍していない館員が担当したため、状況の把握に時間を要した。

なお、吉田構内で実施した農学部RI実験研究施設新営に伴う試掘調査と公共下水道布設に伴う試掘調査については、それぞれ事前調査と合わせて報告する。

Tab.1 平成7年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積(m ²)	調査期間	調査担当	挿図番号
事前	農学部RI実験研究施設新営	吉田	Q・R-17	514.5	7月10日～8月31日	豆谷	Fig. 77 No. 174
	公共下水道布設	吉田	C・D-18, D・E-17, E・F-16, F・G-15, G-14	344.9	11月6日～2月15日	豆谷	Fig. 77 No. 176
試掘	公共下水道布設	吉田	C・D-18, E-16, G-14	72.5	5月22日～6月2日	豆谷	Fig. 77 No. 175
	農学部RI実験研究施設新営	吉田	Q・R-17	86	6月5日～6月16日	豆谷	Fig. 77 No. 173
	農学部附属農場牛舎新営	吉田	S-10	23.6	6月14日	豆谷	Fig. 77 No. 177
	独身宿舎改修	吉田	O-22	23.5	6月19日～6月28日	豆谷	Fig. 77 No. 178
	第2学生食堂増築	吉田	N・O-15	52.8	7月24日～8月17日	村田	Fig. 77 No. 179
	医学部附属病院看護婦宿舎新営	小串		27	5月8日～5月17日	村田	Fig. 78 No. 26
	常盤国際交流会館新営	常盤		6.4	5月23日～5月30日	村田	Fig. 79 No. 17
立会	第2屋内運動場外周照明施設新設	吉田	G-16	1.3	6月9日	村田	Fig. 77 No. 180
	機器分析センター新営工事用電柱仮設	吉田	O-19～22, P-20	1	8月22日	村田	Fig. 77 No. 181

平成 7 年度山口大学構内遺跡調査の概要

調査区分	調 査 名	構内地区	構 内 地 区 割	面積 (㎡)	調 査 期 間	調査担当	挿 図 番 号
立 会	バリカー取設（農学部附属家畜病院）	吉田	R-19	0.2	10月24日	村田	Fig. 77 No. 182
	吉田寮可燃ゴミ置場新設	吉田	N-10	6	11月20日	豆谷	Fig. 77 No. 183
	農学部RI実験研究施設電気・情報通信ケーブル及びガス・給排水管布設	吉田	N・O・P・Q-16, P・Q-17	380.6	11月29日・12月 4～8日	村田	Fig. 77 No. 184
	情報処理センタースロープ新設	吉田	O-19	26.1	12月11日	村田	Fig. 77 No. 185
	基幹環境整備（ATMネットワークケーブル埋設）	吉田	E-19・20, F-18・19 G-18, H-17・18, I-15～17	276.3	2月14日～27日 3月14日	豆谷 村田	Fig. 77 No. 186
	基幹環境整備（外灯新設）	吉田	J-20, K-19, M-21・22, N-12, N-21・22, O-19～22, P-18・19, Q-17・18	15.2	3月5日～4月 16日	村田	Fig. 77 No. 187
	教育学部附属山口中学校自転車置場新設	白石		2.7	7月17日、11月 13日	村田	Fig. 81 No. 16

吉田構内の調査（本部、人文・教育・経済・理・農の各学部：山口市吉田 1677-1、教育学部附属養護学校：同吉田 3003 所在）

事前調査 2 件、試掘調査 5 件、立会調査 8 件を実施した。

農学部RI実験研究施設新営に伴う試掘調査・事前調査では、中世の井戸 1 基と近世～統合移転前の水田に伴う大溝 1 条・小溝 5 条を検出した。近世～近代の棚田の造成に伴う削平が著しく、中世以前の遺構は井戸 1 基を検出するにとどまった。

公共下水道布設に伴う試掘調査・事前調査では、試掘調査 A～C トレンチ及び第Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ調査区で、弥生～古墳時代の溝 1 条、弥生時代前期の土坑 21 基、柱穴 21 基を検出したほか、縄文時代の河川 2 条、弥生～古墳時代の河川 2 条を検出した。また、統合移転前の水田に関連する遺構として用水路 5 条、整地に関連するとみられるもの及び水田区画に伴う落ち込み 12 基、土坑 1 基、水田暗渠 4 条を検出した。

縄文時代の河川からは、吉田構内でほとんど報告事例のない縄文時代後期～晩期初頭の土器が出土し、遺跡形成を知る上で貴重な成果となった。弥生時代前期の遺構からは、前期後葉古相の土器が出土した。詳細な時期が判断できない遺構もあるが、河川以外からは前後の時期に位置づけられる弥生土器が出土していないことから、今回検出した遺構は、この段階の集落に関連する遺構と考えられる。

農学部附属農場牛舎新営に伴う試掘調査では、遺物包含層の可能性のある土層を検出し、独身宿舍改修に伴う試掘調査では遺物包含層と時期不明の河川を 1 条検出した。第 2 学生食堂増築に伴う試掘調査では、B トレンチで柱穴 2 基を検出した。上記の柱穴は事前調査の結果から中世と考えられる。

農学部 RI 実験研究施設電気・情報通信ケーブル及びガス・給排水管布設工事に伴う立会調査では、連合獣医学科棟敷地・獣医学国際研究センター敷地で検出されたものと同一

とみられる縄文時代の河川を検出した。基幹環境整備工事(ATMネットワークケーブル布設)に伴う立会調査では弥生～古墳時代とみられる溝2条、河川2条のほか、複数の遺構断面を確認した。

その他の立会調査では顕著な遺構・遺物は検出できなかった。

白石構内の調査 (教育学部附属山口幼稚園：山口市白石三丁目1-2、同小学校：白石三丁目1-1、同山口中学校：白石一丁目9-1所在)

立会調査1件を実施した。教育学部附属山口中学校自転車置場新設工事に伴う立会調査では、2箇所で自転車置場の新設に伴う調査を実施したが、工事による掘削は造成土の範囲内にとどまった。

小串構内の調査 (医学部、同附属病院、医療技術短期大学部：宇部市南小串1丁目1-1)

試掘調査を1件実施した。医学部附属病院看護婦宿舍新営に伴う試掘調査では、Bトレンチにおいて、現地表下1.7～3mの水田化以前の堆積層で多数の貝殻を採取した。湧水が著しく、掘削中に壁面が崩落したため、層序は不明確であるが、上記の貝類は海底に堆積したものと考えられる。

常盤構内の調査 (工学部：宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舍：同上野中町2658-3所在)

試掘調査を1件実施した。常盤国際交流会館新営に伴う試掘調査では、遺構及び遺物を検出することはできなかったものの、埋蔵文化財資料館運営委員会によって、新営予定地に旧石器時代を中心とした遺物包含層の所在を確認するため、新営工事に際して事前の発掘調査が必要であるとの判断がなされた。



Fig.1 山口大学吉田・白石構内位置図



Fig.2 山口大学小串・常盤構内位置図

光構内の調査 (教育学部附属光小学校、同光中学校: 光市室積8丁目4番1号所在)

当該地で掘削を伴う開発等工事は計画されなかった。

以上の平成7年度調査の報告にあたり、既刊の年報に記載した各構内調査区位置図、平面図、調査面積、出土遺物の時期等を訂正した。



Fig.3 山口大学光構内位置図